

# 株式会社アーレスティ

## 2012年3月期 第3四半期決算説明資料

2012年2月9日

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。

## 特別損失について

### ■ 2011年10月17日公表

タイアーレスティダイ浸水被害による損害見込み  
災害による損失として205百万円を特別損失に計上

### ■ 2011年12月5日公表

製品不具合に伴う点検・交換および対策費用について当社への求償を見込み、  
製品保証費用として1,504百万円を特別損失に計上

**タイアーレスティダイは2月末頃を目処に順次再開予定**



2012年2月10日時点 ほぼ復旧した



2月10日時点 機械整備・修理

# ご説明内容

## TOPICS

- I. 2012年3月期第3四半期決算概況
- II. 今期見通し

## TOPICS

### ■2011年

11月 合肥アーレスティ開業式開催

11月 完成した東海工場第3鑄造棟にダイ  
カスタマシン搬入開始

12月 東京モーターショーに出展

### ■2012年

1月 ダイモールド広州第2期拡張工事完了

2月 ダイモールド広州がものづくり日本大賞  
優秀賞受賞

2月 アーレスティ栃木マグネシウム鑄造棟  
稼働開始



東海工場第3鑄造棟に  
浜松から移設したDCマシン



東京モーターショー



ダイモールド広州第2期  
工事完了

# TOPICS 金型製造拠点の海外展開

## ■ 金型を海外生産するメリット

- ・ 為替影響を受け難い
- ・ 安価な人件費
- ・ 輸送コストの抑制
- ・ リスク分散

### 金型製造拠点の海外展開

1967年 台湾ダイモールド設立(2009年解散)  
 1997年 タイアーレスティダイ設立  
 2005年 ダイモールド広州設立  
 2010年 ダイモールド広州移転拡張  
 (2010年 アーレスティメヒカーナ金型工場設置)  
 2012年 ダイモールド広州第2期拡張工事完了

◆ 海外展開のための標準化、仕組が評価され、  
 ダイモールド広州で、ものづくり日本大賞優秀賞を受賞

# TOPICS 中国ダイカスト製造拠点の展開

- 2003年 広州アーレスティ設立  
 2009年 広州アーレスティ第2工場建設  
 2010年 合肥アーレスティ設立  
 2011年 合肥アーレスティ稼働開始  
 合肥アーレスティ第2期工事(加工工場)建設開始  
 (2012年3月竣工予定)  
 2011年 広州アーレスティ隣接地使用権取得



広州アーレスティ



合肥アーレスティ



開業式でのテープカット

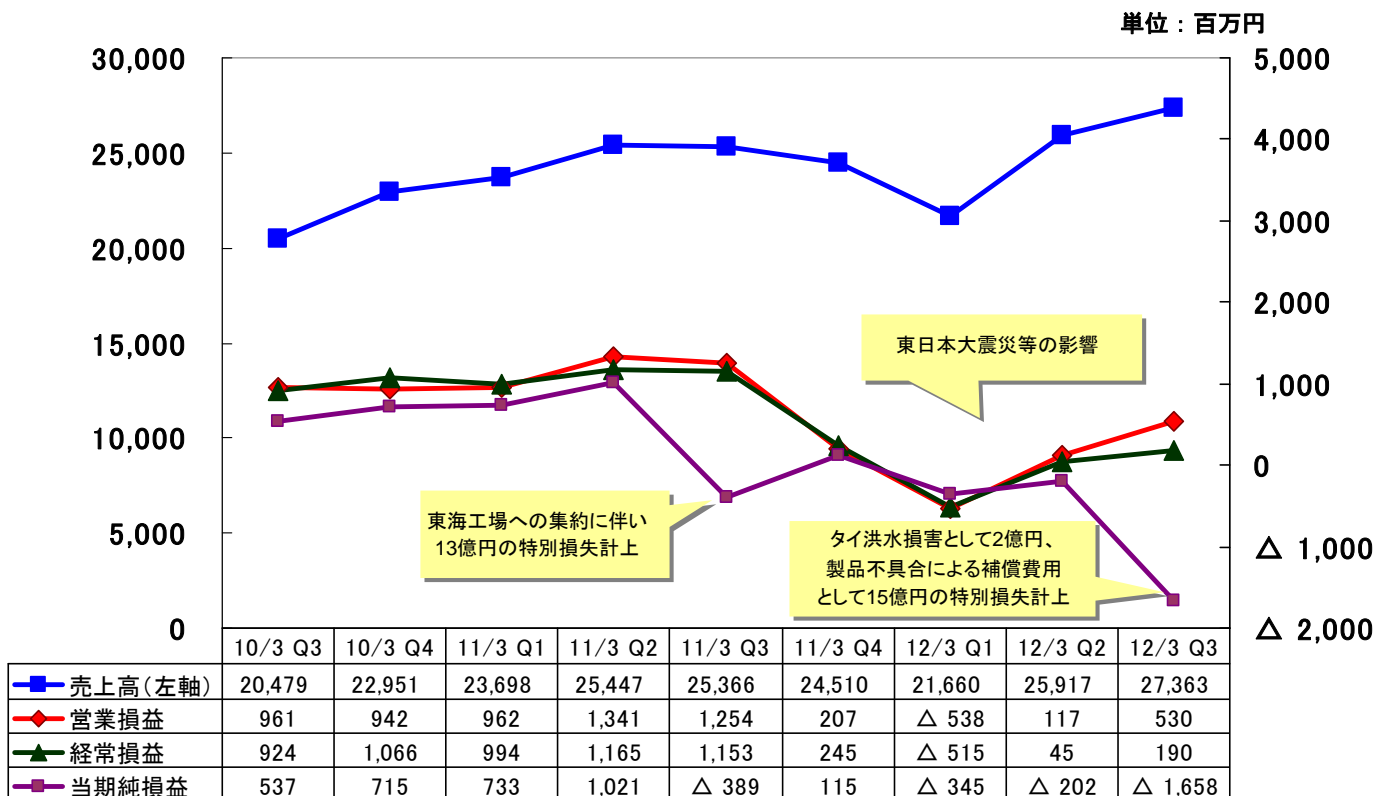


開業式後の工場見学会

# I. 2012年3月期第3四半期決算概況



## 連結決算概要(四半期別)



# 2012年3月期第3四半期決算のポイント

(単位:百万円)

	2011年3月期 第3四半期	2012年3月期 第3四半期	対前年同 四半期増減額
売上高	74,512 100%	74,940 100%	428
売上総利益	10,484 14.1%	7,392 9.9%	△ 3,092
営業利益	3,558 4.8%	109 0.1%	△ 3,449
経常利益	3,311 4.4%	△ 280 -	△ 3,591
四半期純利益	1,366 1.8%	△ 2,205 -	△ 3,571
EPS	63.42	△ 102.32	△ 165.74

- ◆ 当四半期売上高749億円(前年同四半期比0.6%増)、営業利益1億円(前年同四半期比97%減)
- ◆ 売上高について:東日本大震災およびタイ洪水の影響により、国内は微減となるも、メキシコ、中国で販売量を伸ばし連結では微増。
- ◆ 営業利益について:震災およびタイ洪水による影響により販売量が急激に減少し収益に影響を受けた。さらに、メキシコの増産対応遅れ挽回費用の発生および中国第2拠点(合肥)への先行投資、インドの黒字化の遅れにより営業利益は1億円に留まったものの、収益性は改善しつつある。



9

## ダイカスト事業

(単位:百万円)

		2011年3月期 第3四半期	2012年3月期 第3四半期	増減額
日本	売上	50,410 100%	47,759 100%	△2,651
	セグメント 損益	1,830 3.6%	898 1.9%	△932
北米	売上	11,729 100%	12,955 100%	1,226
	セグメント 損益	1,124 9.6%	△296 -	△1,420
アジア	売上	8,139 100%	9,723 100%	1,584
	セグメント 利益	539 6.6%	△530 -	△1,069



10

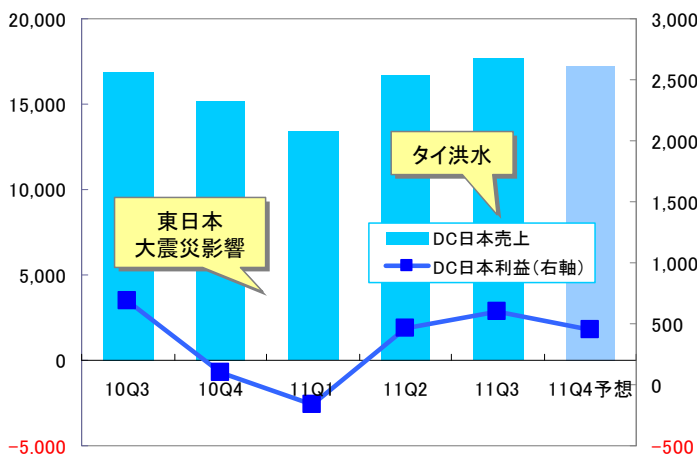
# 海外拠点のオペレーション改善への取り組み

- ◆ 改善支援チームを立ち上げ、自立的な品質改善、生産性向上を推進
- ◆ マネージメントの再構築、強化
- ◆ 品質基盤強化、ものづくりの標準化を推進

中国、メキシコの一時的に悪化した収益性は回復しつつある

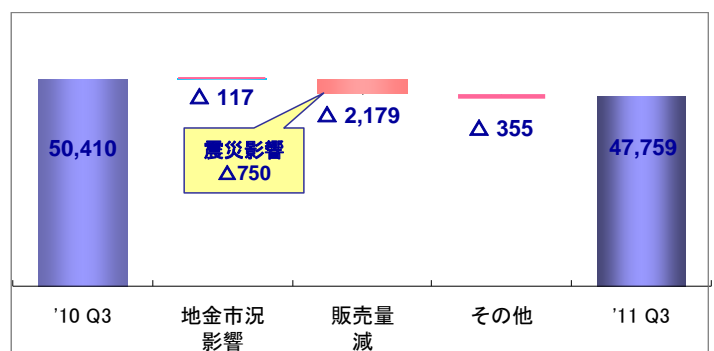
## ダイカスト日本(Q3-Q3比較)

ダイカスト日本売上高／営業利益の推移 (百万円)

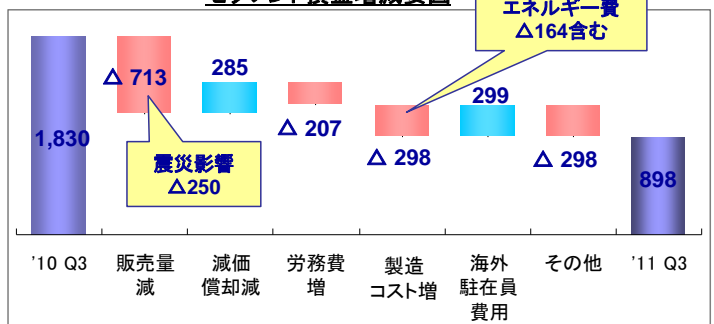


2010年上期のエコカー補助金等景気支援政策による自動車生産回復の恩恵を受け、リーマンショックから回復しつつある中で、2011年3月に起こった東日本大震災により売上、利益に大きな影響を受けた。また、10月に発生したタイ洪水により売上、利益に影響を受けたものの回復しつつある。

売上高増減要因 (百万円)

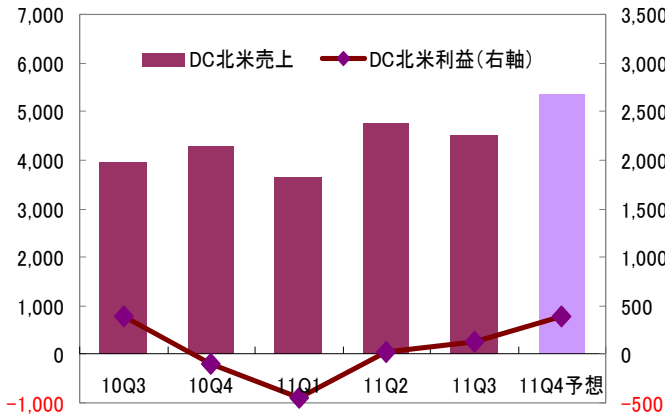


セグメント損益増減要因 (百万円)



# ダイカスト北米 (Q3-Q3比較)

ダイカスト北米売上高／営業利益の推移 (百万円)



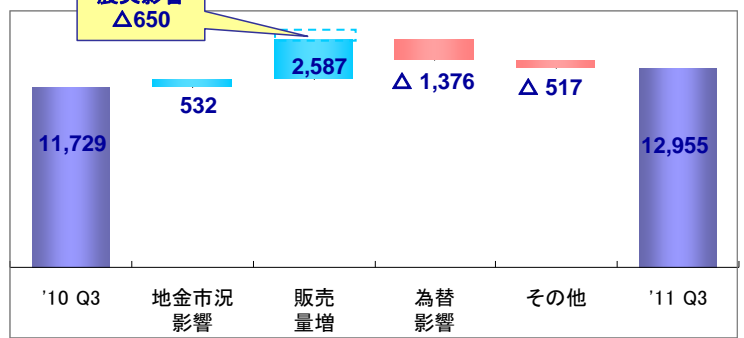
アメリカ: 東日本大震災の影響およびタイの洪水影響により、減益となったものの一定の利益水準を維持。

メキシコ: 受注拡大により売上高は増加するも、利益面では、増産対応遅れを挽回するための費用が発生し、2010年4Qから収益性が大きく悪化したが回復しつつある。

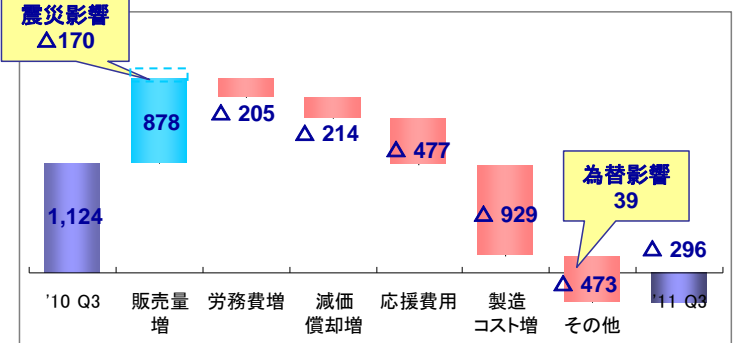
※Q3 アメリカ 4-12月  
メキシコ 1-9月

平均レート  
米\$ 86.86→78.96  
メ\$ (米\$) 89.32→80.33

売上高増減要因 (百万円)

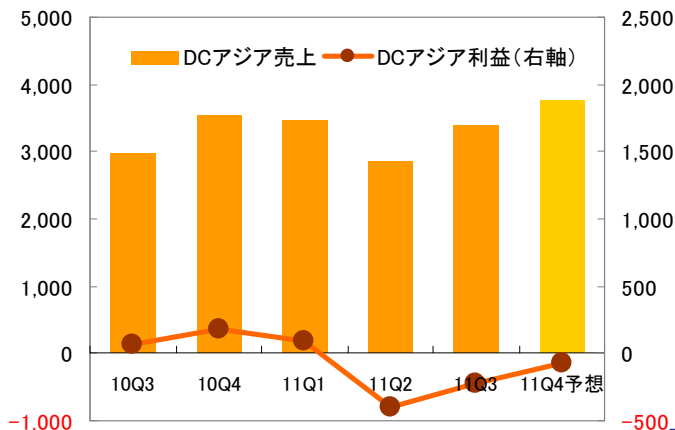


セグメント損益増減要因 (百万円)



# ダイカストアジア (Q3-Q3比較)

ダイカストアジア売上高／営業利益の推移 (百万円)



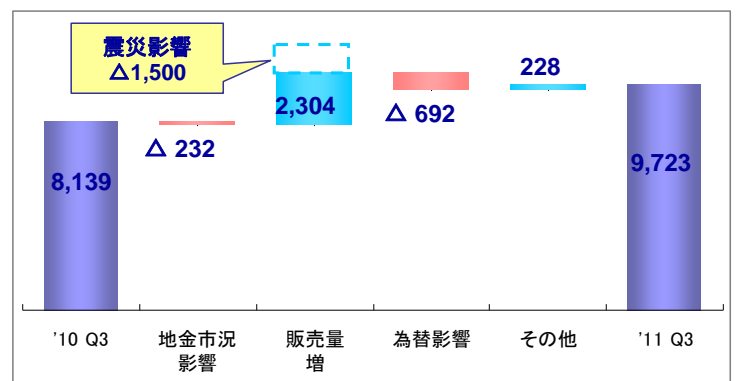
中国: 大震災の影響により一時的に販売量が落ち込むも旺盛な需要に支えられ、売上高は増加している。収益面では、震災影響による急激な販売量の減少および第2拠点(合肥)への先行投資の影響により収益性が悪化したものの回復しつつある。

インド: 受注は増加しているものの、先行投資による固定費負担が重く、さらなる売上高の拡大が課題。

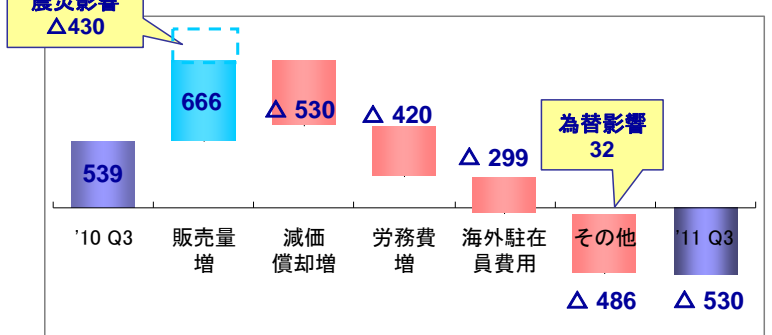
※Q3 中国 1-9月  
インド 4-12月

平均レート  
人民元 13.13→12.35  
インドルピー 1.92→1.69

売上高増減要因 (百万円)



セグメント損益増減要因 (百万円)



# アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2011年3月期 第3四半期	2012年3月期 第3四半期	増減額
アルミニウム 事業	売上	2,690 100%	2,877 100%	187
	営業利益	3 0.1%	△ 18 -	△ 21
完成品事業	売上	1,542 100%	1,624 100%	82
	営業利益	70 4.5%	38 2.3%	△ 32

アルミニウム事業：出荷量が2.7%増加(前年同四半期比)し、売上高は6.9%増加したものの、  
原材料価格の上昇等により、セグメント損益は18百万円の赤字となった。

完成品事業：半導体関連企業の新築・リニューアル物件やデータセンター向け物件等の受注により、  
売上高は5.3%増加(前年同四半期比)するも競争激化により利益は46.3%減少した。

## 貸借対照表

(単位：百万円)

	2011年3月期	2012年3月期 第3四半期
流動資産	40,530	41,621
現預金	9,179	6,368
売上債権	20,254	23,366
棚卸資産	9,162	9,494
固定資産	53,268	56,566
有形固定資産	46,284	51,287
資産合計	93,799	98,187
負債合計	59,391	67,950
買入債務	18,571	19,125
長短借入金	25,850	31,420
純資産合計	34,407	30,237
その他の包括利益合計	△ 3,740	△ 5,602

◆ 海外での拡大投資のため、有形固定資産および借入金が増加。

◆ 四半期純損失および、その他の包括利益額の影響(主に為替換算調整勘定)により純資産が減少



# 配当の状況

(単位:円)	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期 予想
1株当たり配当金					
(年間)	23	11	5	12	未定
中間配当	9	11	-	6	3
期末配当	14	-	5	6	未定
一株当たり純損益(連結)	154.7	△ 313.8	△ 2.8	68.8	△ 67.3
配当性向(連結)	14.9%	-	-	17.4%	-

- ◆ 配当性向には配慮しつつも、今後の成長を勘案した経営資源の配分を推進

## II. 今期見通し



# 2012年3月期セグメント別業績予想

(単位:百万円)

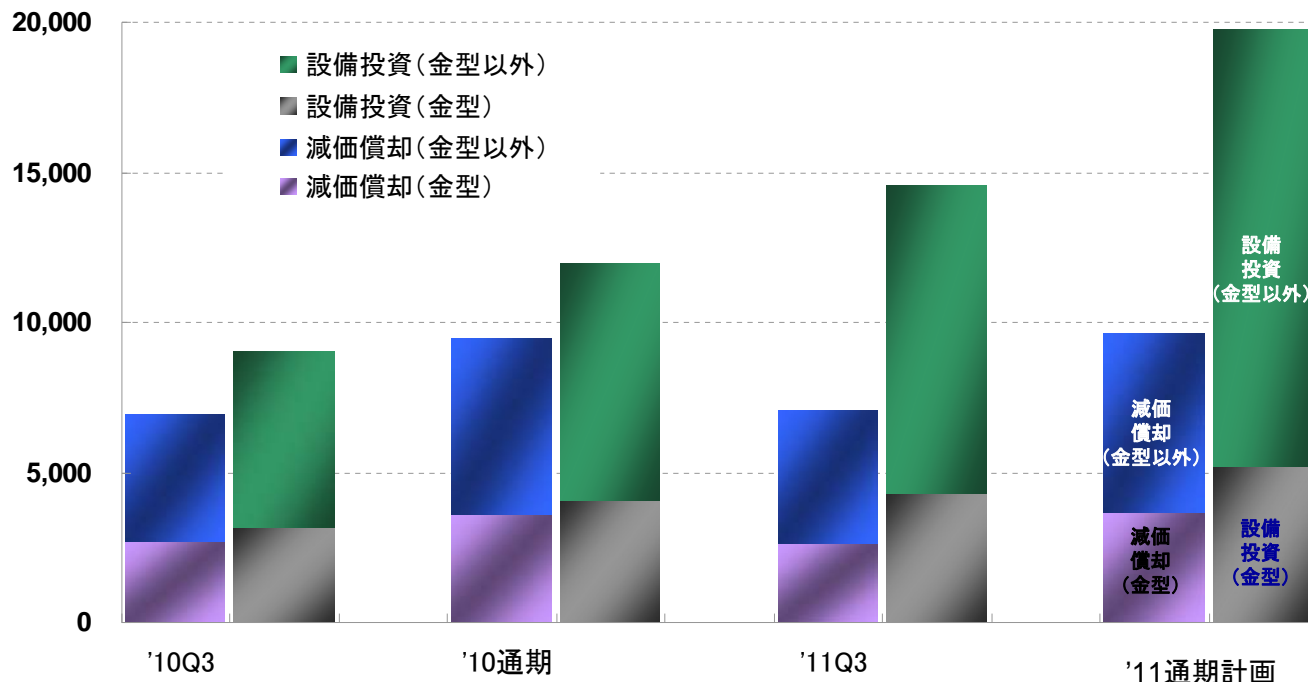
	2011年3月期	2012年3月期 第3四半期	2012年3月期 通期計画 (11/9)	2012年3月期 通期計画 (2/9)
<b>売上高</b>	<b>99,022</b>	<b>74,940</b>	<b>105,700</b>	<b>103,000</b>
ダイカスト日本	65,624	47,759	67,000	65,000
ダイカスト北米	16,020	12,955	18,100	18,300
ダイカストアジア	11,666	9,723	14,100	13,500
アルミニウム	3,524	2,877	3,800	3,800
完成品	2,186	1,624	2,700	2,400
<b>営業損益</b>	<b>3,765</b>	<b>109</b>	<b>1,450</b>	<b>900</b>
ダイカスト日本	1,929	898	1,850	1,350
ダイカスト北米	1,029	△ 296	50	100
ダイカストアジア	723	△ 530	△ 550	△ 600
アルミニウム	△ 13	△ 18	0	0
完成品	84	38	100	50
消去または全社	11	19	0	0

◆ ダイカスト日本、ダイカストアジアの売上減予想に伴い、営業損益の減少を予想

## 設備投資・減価償却の動向

(百万円)

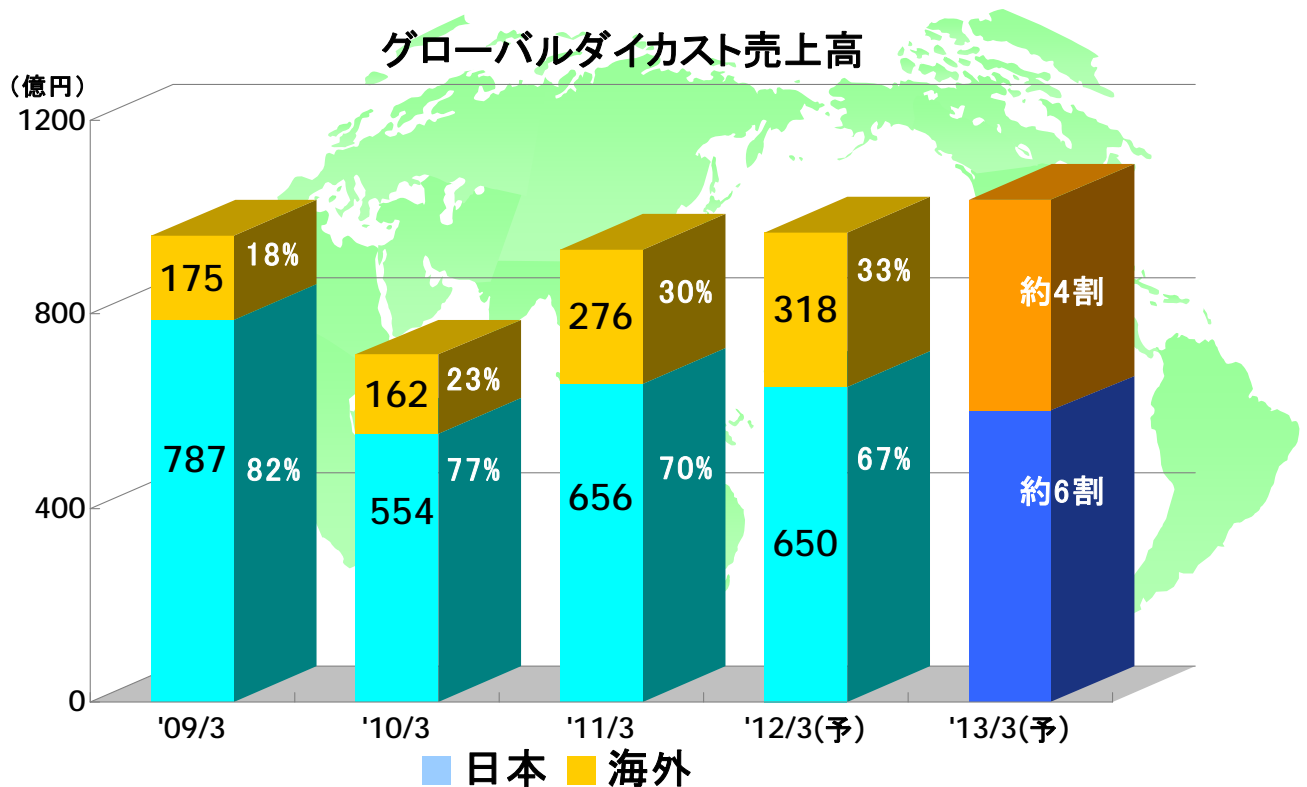
※検収ベース



# 中期経営計画について

2013年3月期時点目標	
連結売上高	1,100億円
売上高営業利益率	4%
株主資本当期純利益率(ROE)	8%
総資産純利益率(ROA)	3%

## ダイカスト事業のグローバル売上高実績と目標



# 株式会社アーレスティ

研究開発・サービス・技術のリーダーを目指して



【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-5332-6004

E-mail: [ahresty\\_MP0\\_IR@ahresty.co.jp](mailto:ahresty_MP0_IR@ahresty.co.jp)

URL: <http://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。